

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 7 月 9 日 (2020.7.9)

【公表番号】特表 2019-517558 (P2019-517558A)

【公表日】令和 1 年 6 月 24 日 (2019.6.24)

【年通号数】公開・登録公報 2019-024

【出願番号】特願 2018-564385 (P2018-564385)

【国際特許分類】

C 0 7 C 29/17 (2006.01)

C 0 7 C 29/141 (2006.01)

C 0 7 C 33/025 (2006.01)

C 0 7 C 33/02 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 C 29/17

C 0 7 C 29/141

C 0 7 C 33/025

C 0 7 C 33/02

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 5 月 27 日 (2020.5.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

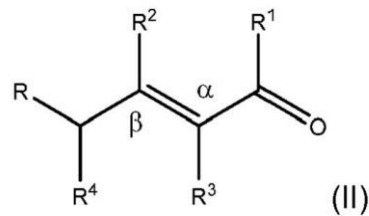
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

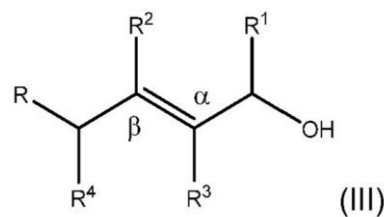
(a) 水素ガス、塩基および均一ルテニウム触媒の存在下、式 (I I)

【化 1】



で表される化合物を約 30 ~ 70 まで加熱して、式 (I I I)

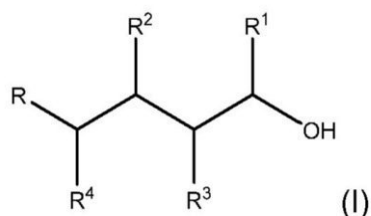
【化 2】



で表される化合物をもたらすこと；

(b) その後、温度を約 100 ~ 150 まで上昇させて、式 (I)

【化 3】



で表される化合物をもたらすこと；

式中

R 1 は、水素またはメチルであり；

R 2 は、水素またはメチルであり；

R 3 は、メチル、またはエチルであり；

R 4 は、水素またはメチルであり；および

R は、少なくとも 1 つの非末端炭素 - 炭素二重結合を含む直鎖または分岐 C 3 ~ C 10 アルキルである、

の工程を含む方法。

【請求項 2】

触媒が均一ルテニウム (I I) 触媒である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

式 (I I) で表される化合物の , - 不飽和二重結合が E - 配置である、請求項 1 ま
たは 2 に記載の方法。